



2019年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年9月11日

上場会社名 株式会社オハラ 上場取引所 東
 コード番号 5218 URL http://www.ohara-inc.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)齋藤 弘和
 問合せ先責任者 (役職名)取締役専務執行役員 (氏名)中島 隆 (TEL)042(772)2101
 四半期報告書提出予定日 2019年9月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(証券アナリスト、機関投資家向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年10月期第3四半期の連結業績(2018年11月1日~2019年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年10月期第3四半期	18,223	△10.9	1,216	△50.2	1,327	△50.9	152	△93.7
2018年10月期第3四半期	20,461	13.2	2,441	114.2	2,702	74.7	2,423	92.3

(注) 包括利益 2019年10月期第3四半期 △524百万円(—%) 2018年10月期第3四半期 3,690百万円(22.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年10月期第3四半期	6.28	—
2018年10月期第3四半期	99.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年10月期第3四半期	56,368	42,798	75.9
2018年10月期	58,221	44,040	75.6

(参考) 自己資本 2019年10月期第3四半期 42,798百万円 2018年10月期 44,040百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年10月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2019年10月期	—	0.00	—		
2019年10月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2019年10月期の連結業績予想(2018年11月1日~2019年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,700	△16.0	1,300	△60.3	1,400	△62.2	500	△84.5	20.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社、除外 - 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年10月期3Q	25,450,000株	2018年10月期	25,450,000株
2019年10月期3Q	1,110,938株	2018年10月期	1,124,538株
2019年10月期3Q	24,333,397株	2018年10月期3Q	24,325,462株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託 (BBT)」に係る信託財産として「資産管理サービス信託銀行株式会社 (信託E口)」が保有する当社株式 (2019年10月期3Q 88,500株、2018年10月期 71,100株) が含まれておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、緩やかに回復しました。アジア地域では、中国では景気が緩やかに減速し、その他の地域では一部に弱い動きも見られました。米国では、個人消費や設備投資が増加したことなどから、景気は着実な回復が続きました。欧州では、景気は一部に弱さが見られたものの、緩やかに回復しました。日本では、輸出を中心に弱さが見られたものの、景気は緩やかに回復しました。

当社グループの光事業の関連市場では、デジタルカメラは、コンパクトタイプ、レンズ交換式タイプともに需要が減少しました。一方、エレクトロニクス事業の関連市場では、露光装置は、FPD向けは弱含みで推移したものの、半導体向けは堅調に推移しました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績は、次のとおりとなりました。

売上高は、光学機器用レンズ材の需要が減少したことなどから、18,223百万円（前年同期比10.9%減）となりました。

損益面では、売上総利益は、生産設備の稼働が低下したことなどから、5,964百万円（同12.9%減）となりました。販売費及び一般管理費は、運送費など一部経費が減少したものの、貸倒損失を計上したことなどにより、4,748百万円（同7.7%増）となり、営業利益は1,216百万円（同50.2%減）となりました。経常利益は、営業外収益として受取配当金を計上したことなどにより、1,327百万円（同50.9%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失として関係会社整理損を計上したこと及び繰延税金資産を一部取り崩したことなどにより、152百万円（同93.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第2四半期連結会計期間より、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を変更しております。以下の前第3四半期連結累計期間との比較分析において、前第3四半期連結累計期間のセグメント利益は変更前の算定方法によっております。詳細については、（セグメント情報等）をご覧ください。

① 光事業

当事業の売上高は、新製品やレンズ加工品の販売に努めたものの、光学プレス品の販売が低調に推移したことなどから、10,974百万円（前年同期比15.6%減）となりました。損益面では、生産性の改善に努めたものの、生産設備の稼働率低下などにより、営業利益は501百万円（同57.4%減）となりました。

② エレクトロニクス事業

当事業の売上高は、半導体露光装置向け高均質ガラスの販売が堅調に推移したものの、耐衝撃・高硬度クリアガラスセラミックス「ナノセラムTM」の商流確立に時間を要していることなどから、7,248百万円（前年同期比2.9%減）となりました。損益面では、貸倒損失を計上したことなどから、営業利益は714百万円（同43.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は56,368百万円(前連結会計年度末比3.2%減)となりました。これは主に、現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したことなどによるものであります。

流動資産の残高は29,668百万円(同5.2%減)となりました。これは、現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したことなどによるものであります。

固定資産の残高は26,700百万円(同0.9%減)となりました。これは、有形固定資産において、減価償却が進んだほか、投資その他の資産において、投資有価証券が時価評価により減少したことなどが主な要因であります。

流動負債の残高は7,504百万円(同19.0%減)となりました。これは、短期借入金が増加した一方で、支払手形及び買掛金や未払金が減少したことなどが主な要因であります。

固定負債の残高は6,065百万円(同23.3%増)となりました。これは、リース債務や繰延税金負債が増加したことなどが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は42,798百万円(同2.8%減)となりました。これは、為替換算調整勘定が減少したことなどが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の状況を踏まえ、2019年3月12日公表の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日発表の「通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,048,456	10,178,693
受取手形及び売掛金	7,152,484	5,587,637
電子記録債権	1,567,693	1,230,820
有価証券	100,000	—
商品及び製品	2,426,157	3,502,433
仕掛品	5,680,967	5,738,645
原材料及び貯蔵品	2,984,297	2,748,210
短期貸付金	—	206,000
その他	397,887	534,243
貸倒引当金	△77,522	△58,571
流動資産合計	31,280,423	29,668,114
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,479,309	13,635,520
減価償却累計額	△8,064,709	△8,251,018
建物及び構築物(純額)	5,414,600	5,384,501
機械装置及び運搬具	17,549,793	17,479,005
減価償却累計額	△14,180,529	△13,889,635
機械装置及び運搬具(純額)	3,369,264	3,589,370
工具、器具及び備品	11,300,531	11,690,289
減価償却累計額	△2,576,358	△2,674,407
工具、器具及び備品(純額)	8,724,172	9,015,882
土地	317,023	308,326
建設仮勘定	1,043,297	433,881
有形固定資産合計	18,868,358	18,731,962
無形固定資産	112,834	317,882
投資その他の資産		
投資有価証券	7,003,704	6,966,823
長期貸付金	206,000	—
退職給付に係る資産	146,410	162,596
繰延税金資産	242,801	201,513
その他	360,651	319,289
投資その他の資産合計	7,959,567	7,650,221
固定資産合計	26,940,760	26,700,066
資産合計	58,221,184	56,368,180

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,608,950	1,068,858
電子記録債務	766,213	459,008
短期借入金	2,475,433	3,524,887
リース債務	749,172	219,707
未払法人税等	460,044	183,215
賞与引当金	865,726	409,866
役員賞与引当金	111,145	45,049
環境対策引当金	57,431	3,247
未払金	1,313,400	872,288
その他	855,170	717,939
流動負債合計	9,262,688	7,504,068
固定負債		
長期借入金	1,570,670	1,433,953
リース債務	53,223	887,845
繰延税金負債	1,434,567	1,937,833
退職給付に係る負債	1,449,363	1,419,434
役員株式給付引当金	37,793	67,553
環境対策引当金	23,106	23,106
資産除去債務	89,837	89,837
その他	259,500	206,330
固定負債合計	4,918,063	6,065,895
負債合計	14,180,751	13,569,963
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,855,000	5,855,000
資本剰余金	7,930,785	7,959,708
利益剰余金	28,473,257	27,894,100
自己株式	△1,488,935	△1,503,277
株主資本合計	40,770,107	40,205,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,119,607	3,143,447
繰延ヘッジ損益	3,405	—
為替換算調整勘定	904,991	169,607
退職給付に係る調整累計額	△757,678	△720,369
その他の包括利益累計額合計	3,270,325	2,592,685
純資産合計	44,040,432	42,798,217
負債純資産合計	58,221,184	56,368,180

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年11月1日 至2018年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年7月31日)
売上高	20,461,013	18,223,173
売上原価	13,611,894	12,258,545
売上総利益	6,849,118	5,964,628
販売費及び一般管理費	4,408,040	4,748,397
営業利益	2,441,078	1,216,231
営業外収益		
受取利息	38,441	42,224
受取配当金	109,242	119,218
為替差益	8,007	—
持分法による投資利益	44,460	9,252
その他	93,725	80,822
営業外収益合計	293,877	251,518
営業外費用		
支払利息	20,144	18,363
固定資産除却損	10,989	10,542
為替差損	—	106,543
その他	1,320	5,052
営業外費用合計	32,455	140,501
経常利益	2,702,501	1,327,248
特別損失		
減損損失	—	44,856
関係会社整理損	—	178,764
特別損失合計	—	223,620
税金等調整前四半期純利益	2,702,501	1,103,627
法人税等合計	279,410	950,887
四半期純利益	2,423,090	152,740
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,423,090	152,740

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)
四半期純利益	2,423,090	152,740
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,554,956	23,840
繰延ヘッジ損益	3,035	△3,405
為替換算調整勘定	△330,462	△654,478
退職給付に係る調整額	67,279	37,309
持分法適用会社に対する持分相当額	△27,266	△80,905
その他の包括利益合計	1,267,542	△677,640
四半期包括利益	3,690,633	△524,899
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,690,633	△524,899

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年11月1日 至 2018年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光事業	エレクトロニクス事業	合計 (注)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	12,998,427	7,462,585	20,461,013
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	12,998,427	7,462,585	20,461,013
セグメント利益	1,176,046	1,265,031	2,441,078

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光事業	エレクトロニクス事業	合計 (注)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	10,974,648	7,248,525	18,223,173
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	10,974,648	7,248,525	18,223,173
セグメント利益	501,364	714,866	1,216,231

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項
(事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

第2四半期連結会計期間より、組織変更に伴い、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、一部の費用の配賦方法を各セグメントの実態に合った合理的な配賦基準に基づき配賦する方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益(営業利益)は、「光事業」で90,208千円減少、「エレクトロニクス事業」で90,208千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3半期連結累計期間において計上した減損損失44,856千円は、光事業セグメントに係るものであります。